

課外授業調査報告

業務説明

満田副会長挨拶

業務目的・内容を述べられた。高校生も地元住民も初顔合わせです。程よい緊張感の中満田副会長の挨拶を聞いている風景です。



2012. 8. 23

業務説明

外部周辺の把握

これから仮設計画等をしていきます。現場周辺の見方など専門家により説明を受けています。



2012. 8. 23

業務説明

内部視察

内部は昔の醤油作りの道具もありました。損傷箇所など確認しました。



2012. 8. 23

草刈・剪定

専門家・植木屋

建物に足場ができないので、草刈や剪定をする。作業前の段取りを教わる。

2012. 9. 11



草刈・剪定

作業直前の様子

2012. 9. 11



草刈・剪定

作業中

植木屋さんに剪定の仕方を教わる。高校生は真剣に作業していました。

2012. 9. 11



外部足場

専門家・足場屋

あいにくの雨です。
現場状況の注意点
など作業前に教わる。
安全確認・声かけ
など現場での心遣い
は、大切です。

2012. 9. 18



外部足場

作業中

足場の職人さん
手際のよさと、教える
のが非常に上手。
高校生もすぐに覚え
どんどん進んだ。

2012. 9. 18



外部足場

作業中

道路側は養生シート
をはる作業をします。

2012. 9. 18



ツタ取り・外壁調査

作業前

焼板と漆喰の外壁
ツタに覆われ外壁が
痛んでいる。

2012. 9. 25



ツタ取り・外壁調査

作業中

漆喰の具合や焼板の
具合を確認しながら
丁寧にツタを撤去し
ています。

2012. 9. 25



ツタ取り・外壁調査

作業中

住民の方と高校生
ツタの引っ張り方を
指導されています。
強すぎると漆喰の
表面も一緒に取れて
しまいます。

2012. 9. 25



専門家による説明

作業前

地域の方の見学

2012. 9. 29



周辺清掃

作業中

地域の方が
周辺の掃除を
始められた

2012. 9. 29

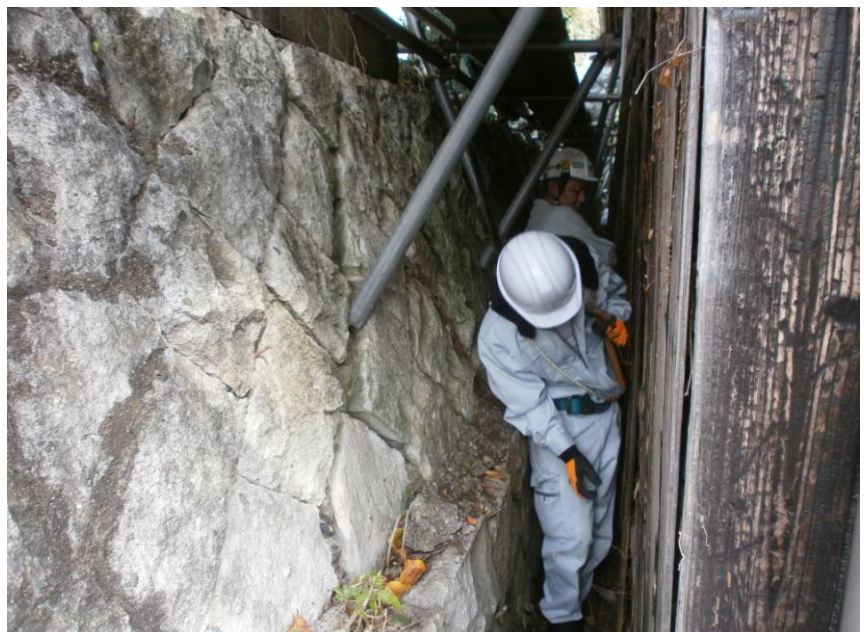


ツタ取り・外壁調査

作業中

焼板部分の調査

2012. 9. 29



外壁撤去

作業中

外壁焼板の撤去作業

2012. 10. 2



外壁撤去

作業中

他市から現場見学
ネットをオープン
ちょっと照れくさそう

2012. 10. 2



外壁撤去

作業中

他市から現場見学
約50名見学

2012. 10. 2



塗装工事

作業前

養生の仕方
塗装範囲の指導を
受けている風景

2012. 10. 9

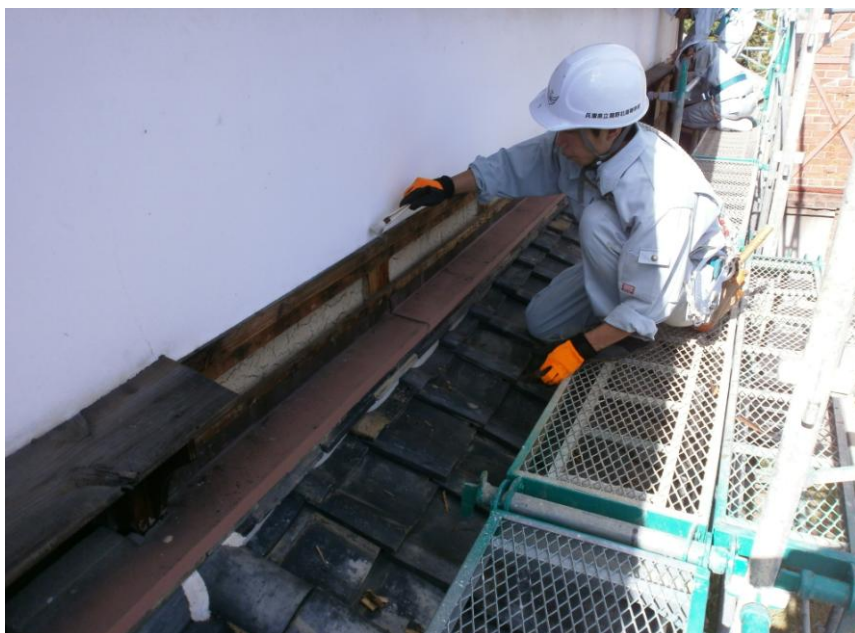


塗装工事

作業中

塗装面を
刷毛できれいに
掃除しています

2012. 10. 9



塗装工事

作業中

塗装中
養生もしっかりと
できています

2012. 10. 9



塗装工事

作業中

古色塗り風景

2012. 10. 20



塗装工事

作業中

古色塗り風景

2012. 10. 20



塗装工事

作業中

古色塗り風景

2012. 10. 20



外壁焼板張り

作業前

焼板の説明風景
地元大工さんに
指導を受ける

地域の方も一緒に
指導を受ける

2012. 10. 30



外壁焼板張り

作業中

焼板施工中風景

2012. 10. 30



外壁焼板張り

作業中

焼板施工中風景

2012. 10. 30



外壁焼板張り

作業前

焼板工事と漆喰面の
ケレンの打ち合わせ
風景
地元大工さん
地元左官屋さん

2012. 11. 3



外壁焼板張り

作業中

焼板施工中風景

2012. 11. 3



外壁焼板張り

作業中

焼板施工中風景

2012. 11. 3



内部足場他

作業前

内部: 片付け
内部足場
内部ツタ取り

外部: 漆喰下塗り

ミーティング風景

2012. 11. 6



内部足場他

作業中

内部足場設置

2012. 11. 6



ツタ取り・外壁調査

作業中

内部: 片付け
内部足場
内部ツタ取り

2012. 11. 6



看板設置

看板作成設置

2012. 11. 13



看板設置

建物オーナーも
作業協力

2012. 11. 13



看板設置

龍野醤油組合員も
見学

2012. 11. 13



見学会

龍野アートプロジェクト見学

醤油蔵再生活用の様子を見学しました

2012. 11. 17



見学会

龍野アートプロジェクト見学

醤油蔵再生活用の様子を見学しました

2012. 11. 17



見学会

龍野アートプロジェクト見学

醤油蔵再生活用の様子を見学しました

2012. 11. 17



左官工事

ミーティング風景
いよいよ左官工事

2012. 11. 20



見学会

漆喰塗作業開始

2012. 11. 20



見学会

親方に教わっています
中々平らにならず
何回も何回も塗って
平らにしました。

2012. 11. 20



足場解体

いよいよ足場の解体
建物に傷をつけない
ように注意されながら
解体しています。

2012. 11. 27



足場解体

解体も計算が必要
どこを最後にするか
悩みどころです...

2012. 11. 27



足場解体

トラックに積み込み
いよいよ全景が。

2012. 11. 27



塗装工事

建具等、タッチアップ

2012. 12. 1



周辺清掃

建物周辺清掃

2012. 12. 1



周辺清掃

建物周辺清掃

2012. 12. 1



塗装工事

スロープ設置
土間をならしています



2012. 12. 4

塗装工事

スロープ設置



2012. 12. 4

塗装工事

スロープ設置
水を掛け固めています



2012. 12. 4

活用案会議

活用方法を
住民・生徒と
話し合っています。

2012. 12. 18



活用案会議

活用方法を
住民・生徒と
話し合っています。

2012. 12. 18



活用案会議

皆で記念撮影

2012. 12. 18



- ・ 龍野まちづくり協議会ミニニュース「わがまち龍野 瓦版」



わがまち龍野 瓦版

— 龍野地区まちづくり協議会ミニニュース —

龍野地区まちづくり協議会 会長 久保 勝

瓦版 平成 24 年 9 月 25 日号

【先進地視察研修レポート】

倉吉・鹿野先進地視察研修

9月16日(日)龍野地区まちづくり協議会で、満田邦弘副会長他、総勢39名が倉吉・鹿野へ先進地視察研修に行きまして参りました。

倉吉市は平成10年に国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受け、

さらに平成22年に伝建地区拡大の選定を受けた白壁土蔵群で有名な町です。その倉吉で一番古い建物の座敷で、倉吉町並み保存会の桑田東之夫会長と教育委員会文化財課森下課長から、重伝建選定に向けての住民運動の取り組み方と行政としての進め方についてお話をお伺いしました。昼食は町家清水庵(せいすいあん)で名物の餅しゃぶ膳をいただき、まち歩きと共に楽しいひと時を過ごしました。また鳥取市鹿野町では、まちづくりに対する住民の強い思いを背景に主に町内のまちづくりを行うNPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会の小林清副理事長と、交流人口拡大につながるような町外や県外の人への仕掛け作りを行う株式会社ふるさと鹿野の長尾裕昭代表取締役社長から、収益事業を営みながら、自分たちのまちは自分たちの手で守り、築き上げていく鹿野のまちづくりについてご説明をいただきました。そして鹿野に拠点置く「鳥の劇場」の中島諒人氏からも地域の文化拠点としての劇場作り、教育・文化の普及活動について貴重なご意見を拝聴いたしました。

特に長尾社長の「自分たちの町は自分たちで守らにゃならん。」という熱い言葉がとても印象的で、国民宿舎山紫苑を指定管理業者として事業化し、その利益で鹿野のまちづくりを進められていることに感銘を受けました。

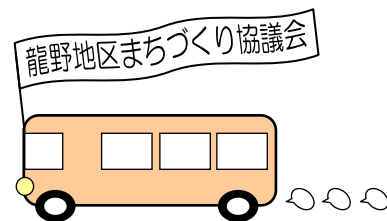
今回の先進地視察研修において、他の地域におけるまちづくりの示唆に富んだ取り組みを直接お聞きし、意見交換できたことは、今後の龍野のまちづくりについて非常に良い機会となりました。

松竹の故前田陽一監督(下川原出身)が、「龍野は幕の内弁当みたいに日本の良いところがギュッと詰まった素晴らしい町だ。」と仰っていましたが、「城」「武家屋敷」「町家」「地場産業」、それに揖保川や鶏籠山などの自然が同居した城下町のそれぞれの魅力を高めていくことが、「龍野らしさ＝龍野の良さ」を後世に残していくことになるように思います。

お忙しい中、先進地視察に参加していただいた方々には心より御礼申し上げます。

どうもありがとうございました。

伝建部会部長 浅井良昭



鹿野をまち歩き



倉吉での研修

歴史的風致維持向上推進等調査レポート】

課外授業による歴史まちづくり担い手育成手法検討調査

課外授業による歴史まちづくり担い手育成手法検討調査がいよいよ始まりました。

8月に国土交通省と契約を済ませ、満田邦弘副会長他と龍野北高校訪問や龍野醤油協同組合への訪問を終え、9月より醤油資料館別館にて工事を行っています。

- ① 全員で物件を視察し、規模等工事範囲や周辺の状況を把握しました。(8/23)
- ② 工事に取りかかる前に草刈りや剪定を行い、作業スペースの確保をしました。(9/11)
- ③ 建物全体に外部足場を設置しました。(9/18) 以上、これまでの進捗状況です。



龍野北高校の先生による実施場所の選定視察風景

満田副会長より、龍野北高校生徒へお願いと激励

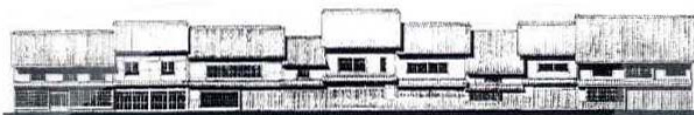


草刈・剪定風景 (9/11)

建物全体に外部足場を設置 (9/18)

次回の課外授業予定日

- 9月25日 (火) 13:00～15:00
- 9月29日 (土) 9:00～17:00
- 10月 2日 (火) 13:00～15:00
- 10月 9日 (火) 13:00～15:00
- 10月20日 (土) 9:00～17:00
- 10月30日 (火) 13:00～15:00



***雨天の場合、学校行事の変更等により急に予定を変更する場合があります。ご注意ください。**

お近くをお通りの際は是非見学していただいて、高校生への激励をよろしく願いいたします。



わがまち龍野



回覧用

— 龍野地区まちづくり協議会ミニニュース —

龍野地区まちづくり協議会 会長 久保 勝

【歴史的風致維持向上推進等調査レポート】

瓦版 平成 24 年 10 月 10 日号

課外授業による歴史まちづくり担い手育成手法検討調査

龍野北高校生により、9月から醤油資料館別館で工事を行っています。

植木が剪定されて庭が奇麗になり、醤油蔵には外部足場も設置されて、いよいよ本格的な工事に入ります。

- ①建物にはびこったツタを取り、溝に溜まった土砂を取り除く作業をしました。(9/25)
- ②残った土砂を除き、外壁焼板を外す作業に取り掛かりました。町の人が6名見学されました。(9/29)
- ③焼板の次に胴縁も取り外しました。三木市高齢者大学大学院から大勢見学に来られました。(10/2)

以上、これまでの進捗状況です。



ツタの除去風景です。(9/25)



現場の溝でサワガニ発見。幼稚園にもいるのかな？



町の人が見学に来られました。(9/29)



約 50 名の三木市高齢者大学大学院の方々。(10/2)

次回の課外授業予定日

10月20日(土) 9:00~17:00

10月30日(火) 13:00~15:00



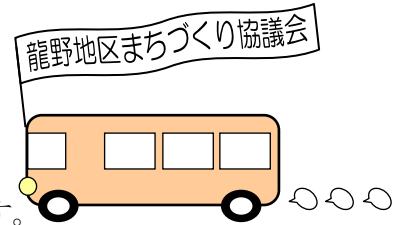
***雨天の場合、学校行事の変更等により急に予定を変更する場合があります。ご注意ください。**

近くをお通りの際は是非見学をしてください。高校生への激励をよろしく願いたします。

【先進地視察研修レポート】

倉吉・鹿野先進地視察研修 参加者感想

9月16日(日)、文化庁から重要伝統的建造物群保存群保存地区の選定を受けた倉吉市打吹玉川地区と、地域住民主導の元気なまちづくりで有名な鳥取市鹿野町への先進地視察研修に参加した方々の感想をレポートいたします。



倉吉市は、平成10年に国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受け、さらに平成22年10月15日に伝建地区拡大(9.2ha、内拡大4.5ha)の選定を受けた白壁土蔵群で知られた城下町で、鶏籠山を想わせる打吹山と浦川のように町の中を流れる玉川、そしてアーケードを撤去した町並みなど、龍野によく似た町です。

一方鹿野町は、合併により地元からの市議会議員は無くなりましたが、住民が自ら考えて動くという自立のまちづくりでは全国屈指と言われており、「自分たちのまちは、自分たちの手で守り築き上げる」というまちづくりの熱い思いを聞いてきました。

《参加者感想》

- ・ 倉吉市では、重伝建選定に向けての住民運動の取組み方と進め方を聞き、特に伝建同意率が84.8%と前回より約20%上がったのは「隣に重伝建地区があり、住民理解があったから」とのことで、見て聞いて、話し合うことが必要と感じた。
- ・ 倉吉の川沿いの雰囲気は、龍野も見習うべき要素が多いと思った。特に浦川と重ね合わせて検討する必要がある。
- ・ 倉吉にも鹿野にもまちづくりにかける熱い人がいる。倉吉の駐車場から会場までの間、十数か所で改修が行われており、町が動いていることを実感した。
- ・ 倉吉は既存の伝建地区と今度新たに選定された伝建地区には大きな差があったが、どのように一体感を出すのか、今後が楽しみだ。倉吉は火事があって町がまとまった。龍野のきっかけは何か?と思いながら勉強会の話聞いた。
- ・ 倉吉は、川があり、水が流れており、石橋があり、道路がカラー舗装してあり、統一感があった。側溝の上の石が落ち着いた印象を与えていた。
- ・ 行ってみたい町、行って良かった町、今回の倉吉・鹿野はまさにそういった町だった。家内と二人で楽しませてもらった。
- ・ 龍野が伝建地区になったとして、自分の家を紹介するようなおもてなしができるのかと思った。住民の意識がもっと高まる必要があると思った。

伝建部会部長 浅井良昭



鹿野での研修



倉吉の玉川沿いの風景



わがまち龍野

— 龍野地区まちづくり協議会ミニニュース —

龍野地区まちづくり協議会 会長 久保 勝

瓦版 平成 24 年 11 月 10 日号

【歴史的風致維持向上推進等調査レポート】

課外授業による歴史まちづくり担い手育成手法検討調査の見学会の開催のお知らせ

9月から醤油資料館別館で龍野北高校の生徒が工事を行っており、現在は外壁の焼き板を張っています。生徒達は指導する職人さんの言葉に耳を傾け、歴史的建造物である建物と対話をしながら技術だけではなく何かを学ぼうと汗を流しています。先月の見学者の感想の中に、「金槌の音頼もしき秋の蔵」という俳句が寄せられていました。高校生の頼もしい姿。秋空のもと少しずつ蘇って昔の頼もしさを取り戻していく蔵。きっと金槌の頼もしい音がもつともつと町の人を惹き付けて、自分たちが住む町の歴史と町に残された遺産とを再認識させてくれるだろう、とありました。

今月も見学会をオープンスクールのような形で開催いたしますので龍野地区の住民の方はもとより、地区外の方もお誘い合せの上、醤油資料館別館の蔵の現場までどうぞお越しください。



次回の課外授業予定日

- 11月13日(火) 13:00~15:00
- 11月20日(火) 13:00~15:00
- 11月24日(土) 9:00~17:00
- 11月27日(火) 13:00~15:00
- 11月24日(土) 9:00~17:00

*雨天の場合や学校行事の変更等により急に予定を変更する場合があります。ご注意ください。

近くをお通りの際は是非見学していただいて、高校生への激励をよろしくお願いいたします。

10月30日に神戸新聞と朝日新聞の取材があり、翌日の新聞に掲載されました。



大工さんの説明に熱心に耳を傾ける北高の生徒



汗を流して焼き板を張っています。

— 参画と協働による歴史的景観保存の推進事業 —

【 龍野地区の景観現状とこれから ^{いま} 10月21日のレポート 】

龍野地区は県の景観条例の景観形成地区に指定されており、その条例の基準について今一度みんなで考えてみる機会になればと、10月21日に講演とまち歩きとワークショップが、参画と協働による歴史的景観保存の推進事業の一環として行われました。

中央公民館での講演は、京都府立大学の太場修先生が「龍野“らしさ”を未来につなぐ為に」というテーマで数十人を前にして話されました。龍野は先生の町家研究のスタートの地だと言われ、町家にも柱を通した京都型町家と大きな梁で支える在地型町家とに区分されるという先生の研究が、その後の町家研究を発展させたということで、龍野での調査・研究が日本の町家研究に大いに貢献をしたと話されていました。

また、龍野は城下町で社寺が多く各時代の町家があり、加えて産業にかかわる建物と近代的な洋風建築もあって複合的な良さがあるとも言われました。これを聞いて、今は亡き龍野出身の前田陽一という映画監督が「龍野は幕の内弁当のような町」と表現されたことを思い出される方もあるのではないかと思います。

そして、龍野で一番古い町家は本町の菊屋商店の元工場の倉庫で18世紀後半のものであり、姫路の歴史博物館にあるその一角のミニチュアは家を建てると同じように先生が図面を引かれたということです。

興味が尽きないお話で一時間があっという間に過ぎてしまいました。

午後からは、総勢30名ほどがまち歩きをして古い建物の見どころをまち歩きサポーターから説明を受けましたが、時には地元参加者から逆に説明があったりして、和気藹々で行われました。

昔からの景観や修復された景観など、限られた時間の中で自分自身の目で見て歩きました。まち歩きの中で、思誠舎という江戸時代に心学の講義がされた建物があるということを初めて知った方もありました。

再び中央公民館に戻ってワールドカフェ方式でワークショップを行い、わがまち龍野の景観について一緒に考えました。景観の良いところや自慢できるところ、景観の気になるところなどを意見交換しました。



講演風景



ワールドカフェ方式でのワークショップ



わがまち龍野

— 龍野地区まちづくり協議会ミニニュース —

龍野地区まちづくり協議会 会長 久保 勝

瓦版 平成 24 年 12 月 10 日号

【歴史的風致維持向上推進等調査レポート】

課外授業による歴史まちづくり担い手育成手法検討調査がいよいよ完成です！

9月から醤油資料館別館で龍野北高校の生徒が工事を行ってまいりましたが、足場が外されいよいよ最終段階に入りました。久しぶりに足場が外されると、焼き板と、漆喰がきれいになった姿で現れた瞬間、生徒達、指導者、職人さん、みんな笑顔になり握手したり、ハイタッチしたりしていました。

住民の皆様も完成した醤油資料館別館を見学に来てください。高校生が9月から植栽の剪定・足場組・焼き板撤去・屋根の点検・焼き板施工・漆喰塗・樋の設置・足場解体・内部塗装・スロープ設置と行いました。素晴らしい出来映えになっています。高校生たちも自分たちの住む町の歴史的建造物と向き合い伝統工法で改修し蘇った建物を前に、自然と笑顔になり、喜んでいた姿が印象的でした。

次回の課外授業予定日

12月18日（火） 11：00～12：40 ワークショップをします。

***住民の方と高校生で、醤油資料館別館の醤油蔵で活用についてのワークショップを行います。約1時間程度ですが、高校生が頑張った完成させた激励と今後の活用について、楽しくお話ができればなと思います。**

住民の皆様もご参加宜しく願致します。



改修前の醤油資料館別館の蔵



改修後の醤油資料館別館の蔵

『第35回 全国町並みゼミ福岡大会 参加レポート』

第35回全国町並みゼミ福岡大会は、「地域遺産の再発見とまちの魅力創出：福岡から活かそう 町並みとアジア文化」をテーマに福岡、博多で11月30日から12月2日の3日間で行われた。

1日目の全大会は、博多市内の都久志会館で、開会のセレモニー・開催地からの報告が行われた。続いて「これからのまちや地域の景観づくり」をテーマに座談会に移りました。休憩して各地からの活動報告を5か所から聞くことができました。その後、場所を移しブロック会議が各会議室で行われました。関西ブロックの出席者は40名ほどで関西のネットワークを確認しあいました。夜は、歓迎交流会が執り行われ、各地でまちづくりに熱いキーマンが話に花を咲かせた。



開会セレモニーの様子



関西ブロック会議の様子

2日目は、各会場に分かれての分科会がありました。龍野の発表を行うのは「討議」第5分科会で福津市文化会館で行われました。午前中まち歩き、昼食後、シンポジウムが行われた。第5分科会のテーマは「町並み保存・継承と町家等の活用～空き家再生の視点から～」で、100名もの参加者と熱い討議となった。場所を移し、交流会となりました。分科会での交流会ということもあり熱気もまま、熱い夜となった。その後「夜なべ談義」へ、つづく・・・



福津市まち歩きの様子



第5分科会 会場の様子

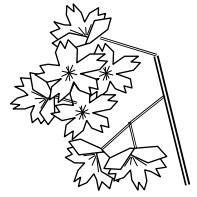
3日目は、福岡市立婦人会館で行われました。大学生による各分科会の報告、まちづくりに関わる女性のシンポジウム、閉会セレモニー、エクスカージョンへとつづいた。

三日間を通じ、歴史的資源を継承することの重要性を再確認し、再生と利活用が課題となっている。ネットワークを通じ龍野へも発信していけたらと思います。

【龍野地区まちづくり協議会 幹事 岸野裕児】



ねがまち龍野



— 龍野地区まちづくり協議会ニュース —

市花：さくら

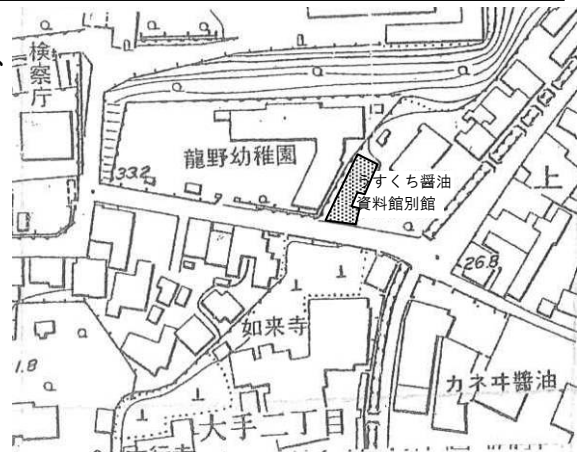
第 27 号

平成 25 年 2 月 10 日 発行

龍野北高校生の課外授業による 醤油資料館別館蔵の外觀修復工事が完成

今年度の当まちづくり協議会活動の一環として、龍野北高等学校の課外授業と連携し、龍野醤油協同組合の協力を得、老朽化した醤油蔵の外觀修復工事を行いました。工事は平成 24 年 9 月から 12 月に行い、高校生による実習成果としては、完成度の高い修復工事となりました。

この事業は、平成 24 年度の国土交通省の歴史的風致維持向上推進等調査を受託し、課外授業による歴史まちづくり担い手育成手法検討調査として実施されたものです。



・位置図



・工事の様子



・完成した外観

(平成 25 年)町ちゅう美術館開催のお知らせ！

★日時：平成 25 年 2 月 15 日(金)～17 日(日)
10:00～16:00(17 日は 15:00 まで)

★場所：たつの市龍野地区(歴史的景観形成地区)

- ・主催：町ちゅう美術館実行委員会
- ・後援：たつの市、龍野地区まちづくり協議会等

テーマ：「新 新 時代」

—新しい時代を斬り開け—

◎連絡先：県立龍野北高等学校
総合デザイン科
TEL0791-75-2900

※今年から、この醤油資料館別館も町ちゅう美術館の会場の一つとなります。

“まち協”部会だより

自然・環境・景観部会

- ①龍野公園を中心に「龍野地区さくらプロジェクト」に取り組んでいる。内容としては、古木桜の再生(施肥や周囲雑木林の伐採)と若木桜の植樹を進めている。
- ②その他の活動としては、龍野小学校のカラタチの生垣、十文字川沿いの“つらつら椿”の補修整備や、聚遠亭の心字池周辺的美観整備に取り組んでいる。



・若木さくらの防護ネット

イベント交流部会

- ① 毎月第3日曜日の朝9時から、醤油資料館前洋館において、ふれあい朝市を開いている。1月で第102ステージを数える。
- ② 7月には、活性化部会と合同で(第6回)七夕まつりを行った。今年は、醤油資料館前の旧銀行跡洋館で「七夕音楽会」を開催した。
- ③ この他に、オータムフェスティバル in 龍野や、ひなまつり等のビッグイベント時に「お休み処」を開き参加している。



・七夕音楽会の様子

広報部会

- ①当協議会の機関紙としての「わがまち龍野」(全戸配布)の平成24年度の発行は、7月の第26号と本号である。
- ②瓦版としてのミニニュース(回覧等)は、8月以降月に1回のペースで、先進地視察関連記事等これまでに6回発刊している。

・今年度のミニニュース発行経過

H24. 4. 25 日号	総会案内号
H24. 8. 10 日号	先進地視察研修のご案内
H24. 9. 25 日号	先進地視察研修レポート
H24. 10. 10 日号	歴史的風致維持向上推進等調査レポート
H24. 11. 10 日号	課外授業見学会開催のお知らせ
H24. 12. 10 日号	(第35回)全国町並みゼミ参加レポート

伝建部会

- ①伝建地区選定に向けて、月に1回のペースで势力的に部会を開催し、多面的な活動が展開されている。
- ②今年度の主な議題は、県の景観形成地区の基準見直しのためのワークショップや、先進地見学会に関することである。
- ③この他、龍野北高校との連携による醤油蔵外観修復工事等、側面的な支援にも取り組んでいる。



・景観形成基準検討のワークショップ

活性化部会

- ①イベント部会と合同で、7月に(第6回)龍野川西七夕まつりを実施した。今年は、150本の笹を飾った。
- ②大型店頭暖簾の設置事業を、平成19年から続けてきたが、今年で合計30軒になった。しかし、近年、暖簾の需要も頭打ちの傾向が見られ始めている。



・七夕まつりの笹切り出しの様子

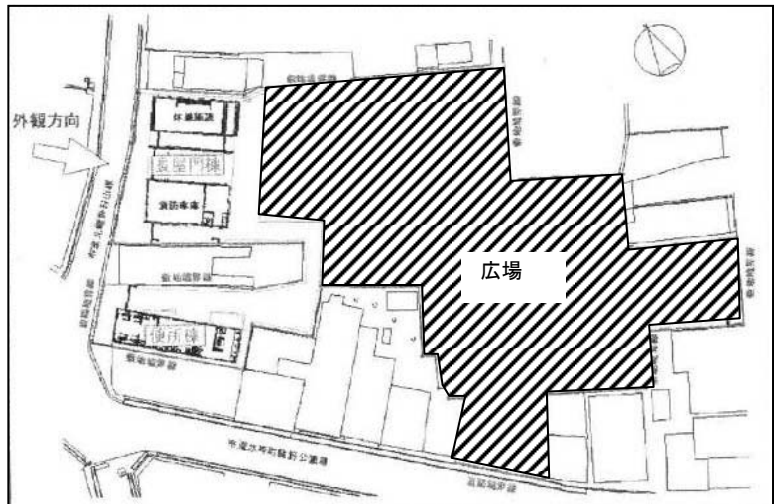
たつの市のまち並み整備事業

★かどめ公園整備工事(建築)・今春完成予定

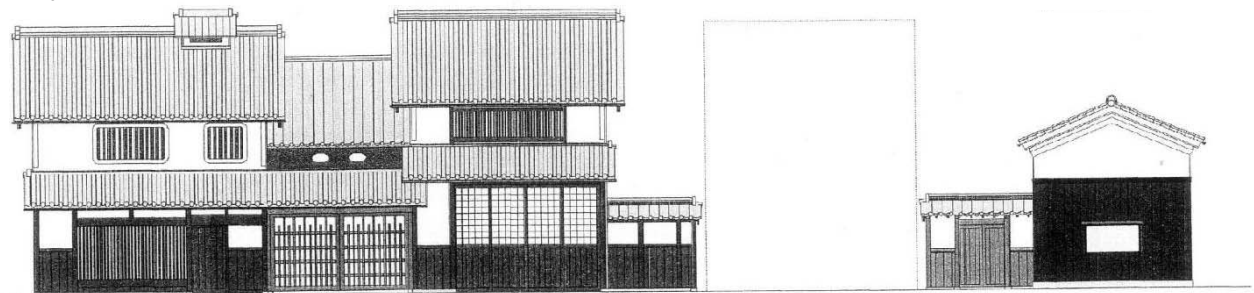
たつの市では、過年度より、かどめ館前一带をまち並み環境整備事業により、かどめ公園の整備を進めて来ました。この事業の中で、景観形成地区の町家ゾーンに位置するところには、町家や蔵の伝統的な建築様式による復元を行う計画を進めています。

3月の完成を目指し、工事中で今春には完成予定です。

また、このまち並み形成の事例は、景観と防災に配慮した広場(斜線部内)を次年度に計画しており、多目的利用が図れるよう整備計画が進められています。



・かどめ公園全体配置図



・まち並みイメージ図

★三木露風生家の整備

- (1) 三木露風生家管理運営検討委員会
自治会、まちづくり協議会とたつの市等で検討委員会が設けられ検討されました。
- (2) 生家の修復工事について
平成24年度のたつの市の事業として、現在、改修工事が進められている。

- (3) 「三木露風生家」の愛称募集
—露風が生まれ、幼少期を過ごした生家の愛称—
・応募期間：平成24年8月10日～9月20日
・応募資格：特に制限なし

・応募者数：〇〇〇
・決定愛称：「露風とともに」

(第7回)龍野ひなまつりのご案内!

★期間：平成25年3月16日(土)～24日(日)

★場所：龍野川西地区一帯

—第21回龍野ひな流し—

★日時：平成25年3月20日(春分の日)



久保 勝会長がご逝去

去る平成 25 年 1 月 6 日に、龍野地区まちづくり協議会会長の久保勝様が、享年 70 歳で逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げますとともにご報告申し上げます。

久保会長は、平成 22 年に当まちづくり協議会の副会長に就任され、平成 24 年 5 月からは浦上前会長の後をうけて、まちづくり協議会の第 4 代会長に就任されました。

まちづくり協議会が発足してから約 12 年が経過し、その存在価値が改めて問い直している今日、久保会長は就任以来、人情味溢れる人柄と、持ち前の行動力により、まち協の活性化と意識改革に率先して取り組んでこられました。

しかしながら会長就任からわずか 8 ヶ月での突然のご逝去は、あまりに急ことで予想だにできなかった事態であり、まち協にとって本当に残念で、大きな痛手としか言いようがありません。まち協改革の道半ばにして、天国へ駆け足で旅立たれた久保会長に対し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。 合掌



・故 久保 勝 会長

----- (在りし日の久保会長) -----



・龍野城での結婚式の見届け人



・まちづくり協議会総会での挨拶

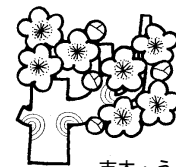


・七夕まつりの笹切出しの手伝い

お問合せ先

龍野地区のまちづくりについて、ご意見、ご質問がありましたら下記までお願いします。 龍野地区まちづくり協議会

事務局 武内 憲章 (TEL:0791-63-4573 FAX:62-5054)
田中 晋 (TEL:0791-62-1390)



市木：うめ

- 平成 2 4 年度歴史的風致維持向上推進等調査報告会 資料

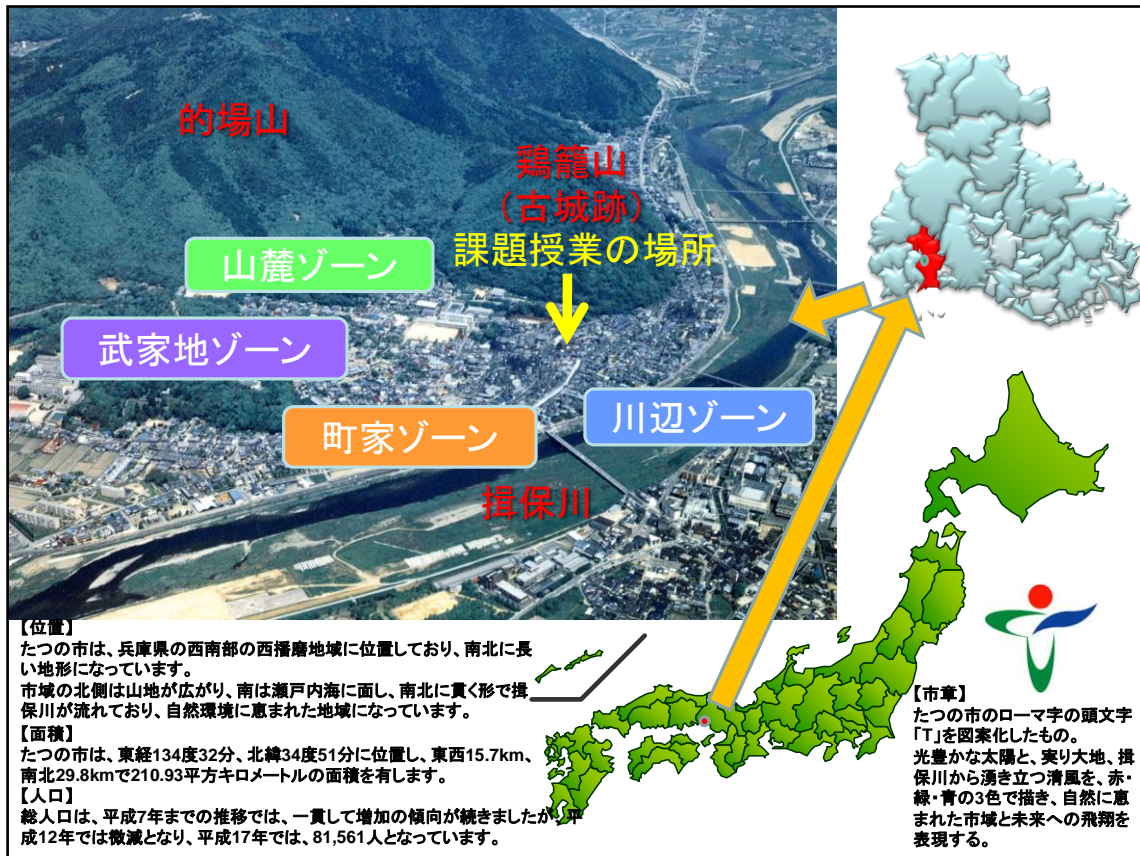
平成24年度歴史的風致維持向上推進等調査報告会

課外授業による歴史まちづくり担い手育成手法検討調査

～次世代の担い手をつくる～

龍野地区まちづくり協議会

平成25年2月18日





龍野地区は、各地伝建築地区の要素を併せ持つ複合的／独自の文化的景観を形成しています

みんなの
自慢

龍野の魅力

- ・ 城下町 生きている地割
- ・ **伝統産業(醤油)**がいきづく城下町
- ・ みず・みどり、そして町並み
- ・ 瓦屋根の下、みどころ散歩
- ・ 多才な人材とその旧跡
- ・ 町家にみる多彩な様式
- ・ 武家地区の近代和風住宅
- ・ まちづくりの多様な展開

地域の課題

● 歴史的建造物の現状・課題

龍野地区の伝統的な景観を再認識し、保存と活用を考
えていこうと動きがある反面、町家など古い建物が維持
できなくなり、どんどん壊され、伝統的な町並み景観が
急速に失われている状況が続いている。

● 担い手の現状・課題

伝統的な建造物を修景するにあたり伝統工法の技術を
再認識し、伝統工法での修景を目指す必要があります。
町並みを保存していく上で伝統工法の継承のための技
術や技能者の育成や後継者づくりが大切になってきます
が、技術者を目指す担い手が非常に少なく、継承が困難
になっています。

興味・感心・町への愛着が薄れているという課題がある！

本業務の目的

- たつの市をモデル地域として、地元高校生が歴史的建造物への愛着とその保存等の取り組みを職業として興味を持てる課外授業を実施
- 課外授業で歴史的建造物に興味を持った高校生や卒業生のさらなる育成と地域の意識向上



担い手育成の手法の開発



高校生の課外授業のプログラムの開発

検討のポイント

- 職業として興味を持つ課外授業のプログラム

全工程の職業を伝え将来の視野を広げてもらうよう

木・土・古色

のこぎり・かなづち

伝統素材、伝統工具など使用する工程

- 地域との交流が深まる課外授業のプログラム

地域の設計士・大工・左官等の専門家、職人と交流

地域住民との交流

調査の実施体制

龍野地区まちづくり協議会の設置

龍野地区の健全で住み良く活気のあるまちづくりを推進することを目的し、平成12年設置しました。

- ① 地域のまちづくりの研究及び協議
- ② 地域住民の総意を反映したまちづくり構想の策定
- ③ まちづくり計画の実現に関する協議
- ④ 会員への広報

その他、上記目的を達成するために事業を行う。

会員は、地域内の居住者、地域内の土地及び建築物の所有者、地域内において事業を行う者で構成している。



龍野地区まちづくり協議会の取組

- 自然・環境・景観部会
 - ・龍野地区「さくら」再生
 - ・龍野地区の樹木として「さくら、もみじ、つつじ」を充実させる。
 - ・浦川沿いの「やなぎ」再生
 - ・十文字川沿いの「つらつら樺」補植
 - ・説明看板、案内看板の充実
- 活性化部会
 - ・大型店頭まち並みのれん事業
 - ・「七夕まつり」事業
- イベント・交流部会
 - ・ふれあい朝市の開催
 - ・七夕まつり折り紙教室の開催
 - ・旧銀行跡の利活用
- 伝建部会
 - ・先進地視察研修
 - ・ワークショップの開催
 - ・まち歩きの開催
 - ・講演会、シンポジウムの開催
 - ・アンケート調査
- 広報部会
 - ・まち協ニュースの発刊

地域の課題の興味・感心・町への愛着の低下

「活力あるまち」をとりもどすため

担い手育成を検討！

教材選びの検討



【物件選定のポイント】

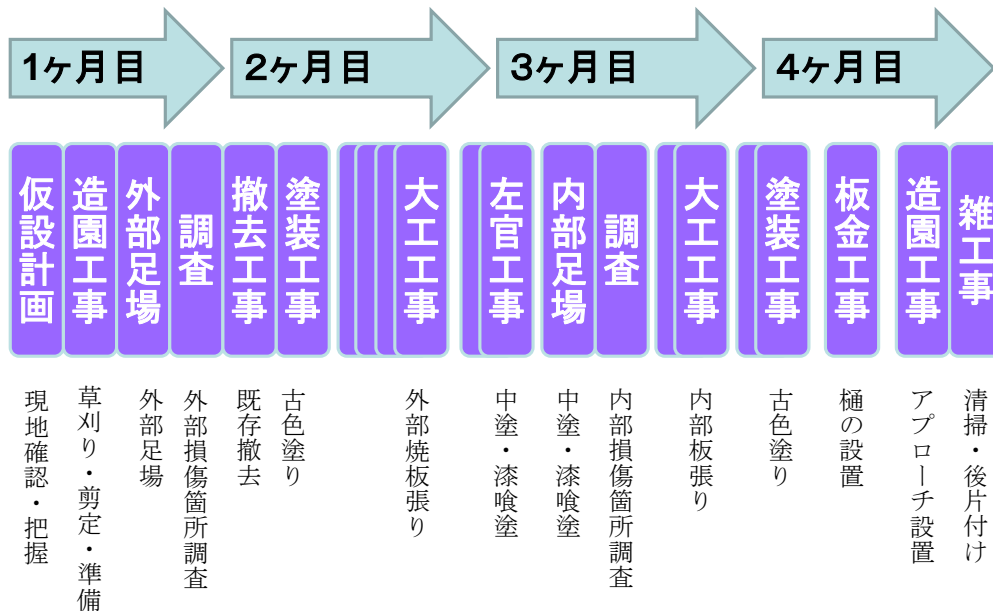
- ・持ち主の同意は得られるか？
- ・学期中に終了できる物件か？
- ・高校生の技量に合っているか？
- ・安全確保はできるのか？
- ・一連の工程がつかれるか？
- ・学校の希望は？

協議会は、物件候補を抽出し、16項目にわたり点数を付け総合得点の高い物件を教材として選びました。協議の上、先生に物件を事前に見ていただき、内容を説明し、最終決定としました。

うすくち醤油資料館別館の蔵(龍野醤油協同組合所有)

- ・明治32年ごろ龍野醤油協同組合事務所に隣接する蔵
- ・事務所棟は洋館(近代建築)
- ・隣接の蔵は試験場(和風建築)
- ・面積 約160㎡

調査の実施流れ 【プログラムの基本的構成】



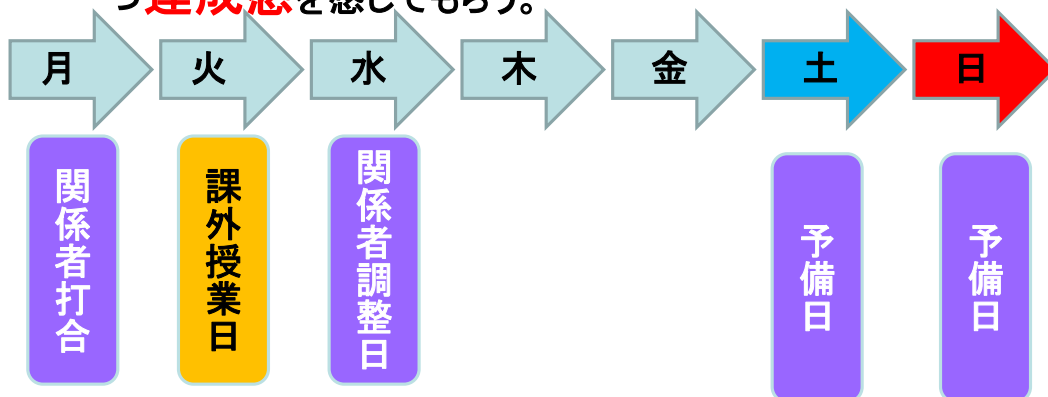
通常1か月半程度の仕事を、課外授業の一週間サイクルにあてこむ。(約4カ月になる。)

時間割りの工夫

●一週間を一作業と考える

工種別に作業の工程を決定し、一週間で一作業が終了するように組み込んでいく。

普段の工事と違い、限られた授業の中で高校生に一作業ずつ完結させることで、工程が明確に進み、一作業ずつ**達成感**を感じてもらう。

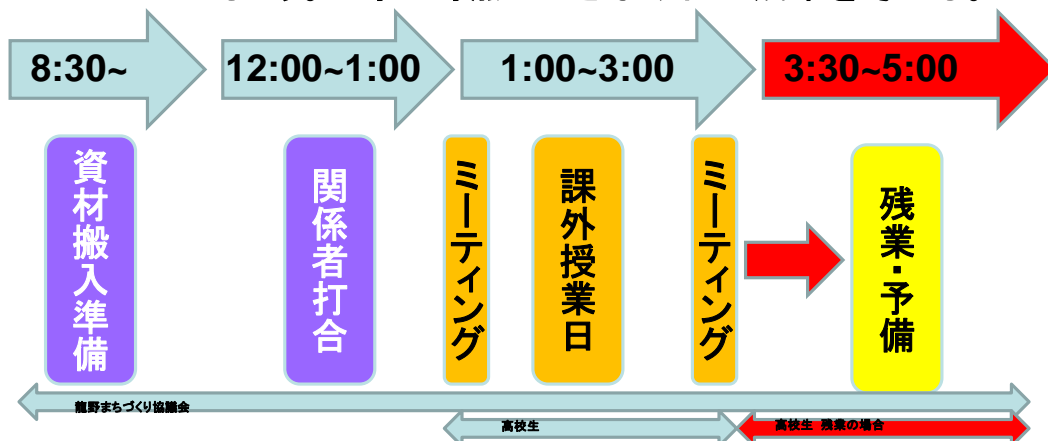


課外授業の一日の工夫

● 課外授業2時間をピークにする

一作業の一番作業らしい状態の始まりから終了で2時間の作業量を課外授業にあてる。

午前中に資材搬入や下準備を行い、関係者の打合せを行う。高校生にミーティングをしてもらい**作業の段取り**を立ててもらふ。3時の時点でできなければ残業を考える。



外部足場設置



課外授業の様子



物件周辺の草刈り・剪定



大工さんの講義中

課外授業の様子

町の参観日

住民の声

- 今回だけでなく来年も再来年も続けてほしい事業だと感じました。
- こういった高校生の成長と町並み保存活動が、住民に直接伝わる機会はとても貴重なこと。
- 高校生に対して、将来良い大工(職人)になって欲しいという願いを持って指導されているのが、自然に伝わってきた。
- じっと聞いている高校生の後姿は実に頼もしい。

生徒の声

- 掃除や草刈りといった雑用が多くて楽しくない！
- 残業や、土曜に朝から夕方まで作業があった。しんどかった。
- 完成したときの達成感を味わうことができました。
- 工程を理解することの大切さです。
- 職人さんの使う道具を使わせてもらって作業したこともよい経験。
- 何をするにも「段取り」が重要。

みんなの声



先生の声

- 生徒に段取りの考え方を話されていたのが印象に残っている。こういうことは、授業ではなかなか伝わらないことである。
- どの作業でも共通して、効率よく作業を終えて次へ引き継ぐにはどうすればよいか、先を見通して作業をすることを考える機会。校内ではすることのできない規模で作業を体験することができた。

職人の声

- 開始する前に基本動作や道具確認などを十分時間をかけて行うべきだ。
- 予習の時間を設けたほうが良いと思った。
- 道具の数だけ仕事があります。道具が使えない！それに関わる仕事は出来ない。道具の基本的な使い方を教えたい。
- 学生の前で教える立場として、自分の仕事の重要性を再認識した。
- 学生さんを通じ、当社も新入社員を参加させましたが、業務の改善が必要と感じました。

本業務でわかったこと

担い手育成の手法の開発

- ・ 専門の職人を導入することで**生徒・職人・住民が密接な関係**がもてる。

高校生の課外授業のプログラムの開発

- ・ 通常1か月半程度の工程を**一週間のサイクルに組込む**ことで課外授業のカリキュラムにすることができる。

今後の課題

- ・ 物件の検討が重要。
住民から物件を提供してもらうことでまちづくりの意識向上をねらう。
- ・ 課外授業中（2時間）毎で達成感。
週1回の2時間授業で各工程を合わせていくことがむずかしい。
- ・ 卒業生に対し今後の連携に期待。
まち協も今後の連携として、窓口をはっきりさせ、卒業生の支援もしていける体制が必要。

高校生が接着剤！

- 担い手づくりが地域づくり
「まちづくり」につながる！
- 課外授業の取組を通じ行政・専門家
そして地域住民が「まちづくり」の
視点で伝建へつなげる気運の上昇に
なる。

大賞 国土交通大臣賞

歴史や文化を活かしたまちづくりと工業高校の建築教育支援

■所在地： 福井県 南越地区（越前市、越前町、南越前町、池田町）

■応募者： 社団法人 福井県建築士会南越支部

■活動の概要

南越地区には、越前市を中心として、多くの伝統的建物等が混在した魅力ある独自の都市空間が数多く残されている。一方、高齢化や人口減少が進み、地域活力の低下も著しく、伝統的建物の維持が困難になっている。(社)福井県建築士会南越支部は、平成10年以降、歴史的建物の保存・活用や町並み整備に向けた活動やまちなかでの暮らしや行事に対する理解を深め、まちづくりに繋げる活動等を主体として、多くの団体と共同で「歴史や文化を活かしたまちづくり」の推進に取り組んでいる。その一環として平成20年からは、将来のまちづくりを担う地元の建築士を育てる必要性を感じ、工業高校の建築学科の生徒を対象として、町家改修に関する出前授業、木造住宅の見学会、既存町家の改修設計、「地域の暮らし」提案等の支援活動を行っている。

本活動は、工業高校、大学、市民活動団体、行政等、多くの団体といろいろな形で協力し活動することが特徴であり、建築教育やまちづくりへの効果が顕れている。なお平成23年度、本活動が評価され福井県建築士会は越前市より景観整備機構の指定を受けている。

■審査講評

越前市（旧武生市）の町割りは今でも300年前とほとんど変わりなく、多くの魅力的な路地と共に町屋、長屋、蔵、寺社が保存され、個性ある都市空間を形成している。しかし、人口の減少や高齢化によって、貴重な歴史的資源も次第に維持することが難しい状況になっている。そこで、福井県建築士会南越支部は、平成10年度より5年間をかけて市街地の建物3970棟を対象に、市民や学生を含めた多くの団体の協力によって「まちなみ調査」を実施した。これをきっかけに古地図等のデータ整理、市民対象に「古地図散歩」の実施、また町家での改修をテーマにしたコンペ「親子で楽しむ家」の実践、同コンペ入賞者による工業高校での授業等、継続的に地域景観の魅力を各種団体と協力しながら多くの市民に伝えてきた。さらに、工業高校の生徒達の「現場を見たい！」という反応から、建築士会は「山、木材、住宅を見よう、知ろう！」という現場見学会を实践すると共に、町家改修の設計製図や建築甲子園への参加支援等を行っている。この工業高校生との双方向性、対話性は、景観教育における極めて先駆的な取り組みである。この15年におよぶ一連の景観教育・普及啓発活動は、都市景観大賞として高く評価できるものである。(卯月)



市民に対して、町家の改修案を発表する工業高校生。参加者：約130人

